

平成30年9月28日

委東下第22号
入札参加業者 各位

下水道部東部地域下水道事務所
財 務 部 契 約 課

委東下第22号 松浜第1排水区三軒屋町雨水貯留管
実施設計業務委託の積算内容について（お知らせ）

委東下第22号 松浜第1排水区三軒屋町雨水貯留管実施設計業務委託の積算内容について、下記のとおりお知らせいたします。

積算にあたってはご注意ください。よろしく願いいたします。

記

1. 施工第0-0001号、0-0002号に記載の中で、一部不適切な表現が含まれておりました。「耐震設計以外総補正」は「総補正率」と読み替えて積算願います。
2. 「耐震設計」における補正内容は「工法による補正」を行った後に積算基準書通り各歩掛同様に「総補正率」を乗じております。なお、直接人件費歩掛り計算書を公表しますので、適宜ご参照ください。

直接人件費歩掛り計算書

推進工法(刃口, 小口径)

下水道設計業務

500m当たり

	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
資料収集	---	---	○	○	○	○	○
公図調査	---	---	---	---	---	---	---
現地踏査	---	○	○	○	○	○	○
現地作業	---	○	○	○	○	○	○
設計計画	---	○	○	○	○	○	○
各種計算	---	---	---	○	○	○	○
調査	---	---	---	○	○	---	---
条件設定	---	---	○	○	○	○	---
耐震計算	---	---	---	○	○	○	○
照査	---	---	○	---	---	---	---
設計図作成	---	---	○	○	○	○	○
数量計算	---	---	○	○	○	○	○
照査	---	○	○	---	---	---	---
計	---	---	---	---	---	---	---
補正後	---	---	---	---	---	---	---

(報告書作成・
設計協議は別途)
総管路延長= 460.8 m
対象延長= 53.8 m

耐震設計

耐震設計レベル1.2

総補正率 0.128

(延長補正) = 基準歩掛 × (対象延長 / 総管路延長)

1.07

↑耐震設計“推進工法”補正

a) 管路延長補正

下水道設計業務

推進管路延長(m)	補正率	管路延長(m)	補正率	管路延長(m)	補正率
100未満	0.684	650以上~ 750未満	1.139		
100以上~ 150未満	0.703	750 " 900 "	1.238		
150 " 200 "	0.740	900 " 1,050 "	1.357		
200 " 250 "	0.777	1,050 " 1,200 "	1.479		
250 " 300 "	0.814	1,200 " 1,400 "	1.623		
300 " 350 "	0.852	1,400 " 1,600 "	1.790		
350 " 400 "	0.889	1,600 " 1,800 "	1.961		
400 " 450 "	0.927	1,800 " 2,000 "	2.135		
450 " 550 "	1.000	2,000 " 2,200 "	2.312		
550 " 650 "	1.062				

総管路延長 = 460.79

対象延長 = 53.75

a) 延長補正率 = 1.000

調整補正率 = 0.1166

b) 設計条件補正

下水道設計業務

設計条件	補正率
商業地区、密集市街地で、検討業務割合が大きい	+10%
通常	0%
郊外地域で地下埋設物や家屋が少ない場合	-10%

b) 設計条件補正率 = 1.0

c) 地盤条件補正

下水道設計業務

地盤条件	補正率
軟弱地盤又は流動化し易い砂質地盤 検討業務割合が大きい場合など	+10%

適用する

c) 地盤条件補正率 = 1.1

d) 工区補正

下水道設計業務

補正率 = 0.06(N1-N0) N1=計画工区数 N0=標準工区数=管路延長÷500m

N1 = 1

N0 = 54 ÷ 500 = 0.1

補正率 = 0.06 × (1-0) = 0.0

d) 工区補正率 = 0.0

e) その他の補正

下水道設計業務

その他補正	+10%	普通
-------	------	----

e) その他補正率 = 1.0

総補正率 = (a) × (b) × (c) × (e) + (d)

総補正率 = 0.128

直接人件費歩掛り計算書

推進工法(中大口径)

500m当たり

下水道設計業務

	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
資料収集	---	---	○	○	○	○	○
公図調査	---	---	---	---	---	---	---
現地踏査	○	○	○	○	○	○	○
現地作業	---	○	○	○	○	○	○
設計計画	○	○	○	○	○	○	---
各種計算	---	---	---	○	○	○	○
調査	---	---	---	○	○	---	---
条件設定	---	---	○	○	○	○	---
耐震計算	---	---	---	○	○	○	○
照査	---	---	○	---	---	---	---
設計図作成	---	---	○	○	○	○	○
数量計算	---	---	○	○	○	○	○
照査	---	○	○	---	---	---	---
計	---	---	---	---	---	---	---
補正後	---	---	---	---	---	---	---

(報告書作成・
設計協議は別途)
総管路延長= 460.8 m
対象延長= 407.0 m

耐震設計

耐震設計レベル1.2

総補正率 0.971

(延長補正) = 基準歩掛 × (対象延長 / 総管路延長)

1.19

↑耐震設計“推進工法”補正

a) 管路延長補正

下水道設計業務

推進管路延長(m)	補正率	管路延長(m)	補正率	管路延長(m)	補正率
100未満	0.684	650以上～ 750未満	1.139		
100以上～ 150未満	0.703	750 “ 900 “	1.238		
150 “ 200 “	0.740	900 “ 1,050 “	1.357		
200 “ 250 “	0.777	1,050 “ 1,200 “	1.479		
250 “ 300 “	0.814	1,200 “ 1,400 “	1.623		
300 “ 350 “	0.852	1,400 “ 1,600 “	1.790		
350 “ 400 “	0.889	1,600 “ 1,800 “	1.961		
400 “ 450 “	0.927	1,800 “ 2,000 “	2.135		
450 “ 550 “	1.000	2,000 “ 2,200 “	2.312		
550 “ 650 “	1.062				

総管路延長 = 460.79
対象延長 = 407.04

a) 延長補正率 = 1.000
調整補正率 = 0.883

b) 設計条件補正

下水道設計業務

設計条件	補正率
商業地区、密集市街地で、検討業務割合が大きい	+10%
通常	0%
郊外地域で地下埋設物や家屋が少ない場合	-10%

b) 設計条件補正率 = 1.0

c) 地盤条件補正

下水道設計業務

地盤条件	補正率
軟弱地盤又は流動化し易い砂質地盤 検討業務割合が大きい場合など	+10%

適用する

c) 地盤条件補正率 = 1.1

d) 工区補正

下水道設計業務

補正率 = 0.06(N1-N0) N1=計画工区数 N0=標準工区数=管路延長÷500m

N1 = 1
N0 = 407 ÷ 500 = 0.4
補正率 = 0.06 × (1 - 0) = 0.0

d) 工区補正率 = 0.0

e) その他の補正

下水道設計業務

その他補正	補正率
その他補正	+10% 普通

e) その他補正率 = 1.0

総補正率 = (a) × (b) × (c) × (e) + (d)

総補正率 = 0.971